



神奈川の風



平成28年1月7日号

校長 吉江 明洋

< 明けましておめでとうございます >

新年を迎え今日から学校が始まりました。冬休み中は、幸いに事故やケガの報告もなく、全員無事に7日を迎えられたことが何より先生方全員の大きな喜びです。今年も健康で意欲的に過ごしましょう。



さて、みなさんの今年の決意や抱負は何でしょうか。3年生は残り2ヶ月で中学校という狭い世界から、一人ひとりが別々に広く大きな新しい世界へと飛び立ちます。また、1・2年生はその将来に向けて、学習や社会生活の基本をしっかりと身につけなければなりません。

中学生の今は、自分を見つめ、自分を鍛える時期です。全員が今年の決意をしっかりと持ってスタートしてほしいと願っています。



今年もすべての場面で「全員を仲間と認める」「仲間と協力をする」「仲間を大切にする」。そして、当たり前のことをより高いレベルでできる中学生となるよう先生方と共に頑張りましょう。

< 小寒 >

1月6日は、二十四節気の一つ小寒でした。小寒とは、寒さがもっとも厳しくなる前とか、寒さが加わる頃という意味で、この日から「寒の入り」と言われ、15日後にあたる21日が大寒。さらに15日後の節分に「寒の明け」となり、立春を迎えます。各地の最低気温が記録されるのもこの時期が一番多く、心配なのはインフルエンザ。まだ本校では流行の兆しは見えていませんが、特に3年生は受験を控えて健康管理に十分に気を配らなければいけない時期となります。試験当日は熱があっても、受験しなければ合格をつかみ取ることはできません。勉強することはもちろんですが、うがい手洗いの励行を心掛けましょう。



< 春の七草 >



今日、1月7日は七草です。これは、万葉時代から行われている年中行事の一つで、この日に「七日正月」「七草の祝い」といって、朝に七種類の菜を入れた七草粥を食べると一年間の災いを除け、万病を防ぎ、長寿富貴を得られるという中国の言い伝えが由来となっています。

さて、「春の七草」を全部言えますか。『せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのぎ・すずな・すずしろ』これぞ春の七草です。ちなみに、せりはスーパーでも売っている芹。なずなは俗名ペンペン草。ごぎょうは母子草。はこべらは小鳥が好んで食べるのでヒヨコ草。すずなは、家庭でもよく食べるカブ。すずしろは大根のことです。

春の七草は、それぞれの薬効成分やビタミン類がとても体に良く、日本人が生んだ薬膳料理なのです。